

生活クラブ・子育て支援連続講座

①これからの保育園を考える

10月13日(土) 14:00~16:00

講師：松本理寿輝さん

(株)ナチュラルスマイルジャパン代表
イタリアの「レジジョ教育」のエッセンスを活かした「まちの保育園」を運営する(株)スマイル・ジャパンの松本理寿輝氏から実践報告を聞き、「子ども園」も見据えた、これまでの枠にとらわれない、これからの保育園のあり方をいっしょに考えます。

②子育て支援の担い手づくり

11月1日(木) 10:30~12:30

講師：奥山千鶴子さん

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
子育て支援総合コーディネーターなど新たな役割が提案されています。今必要とされている子育て支援の担い手の姿と人材育成のあり方について、奥山さんの実践からお話を聞き今後の担い手づくりについて考えます。

会場：①②とも生活クラブ館(世田谷区宮坂3-13-13)

参加費：各回とも資料代として500円。1回ごとのお申込みが可能です！

締切：定員になり次第締切り 連絡先：TEL03-5426-5207 生活クラブ生協たすけあいネットワーク事業部

NPO アビリティクラブたすけあい公開講座

③育てにくさを感じるわが子とハッピーに暮らすヒント

一発達障害の4人のわが子が教えてくれたこと一

11月27日(火) 10:00~12:00

会場：国分寺労政会館 第5会議室 定員150名

講師：堀内祐子さん

参加費：1,000円 (ACT会員は無料・当日加入OK) 保育あり(有料)

★ 悪戦苦闘の子育ての中から生み出された知恵と工夫がいっぱい！

★ 子どもとの向き合い方に悩むお母さん！ぜひご参加ください！

申し込み・お問い合わせ：TEL03-5155-0835 NPO・ACT 北後(きたご)まで



サポーター募集中！ あなたの月々300円で、つながり・支えあう豊かな地域社会をつくりましょう！

サポーターとは『地域ごとに必要な機能をつくり、市民が参加し利用するまちづくり型福祉』を推進し、豊かな地域社会づくりにつなげるために、インクルーシブ事業連合の運営および助成の財源を寄付で支える、個人または団体のことです。

<会費> 個人 3,600円/年 団体 10,000円/年

※生活クラブ組合員の場合、登録制で300円/月を共同購入代金と一緒に引き落としができます。

★サポーターになるには、下記の登録申込書をファックスまたは郵送していただくか、ホームページのお申し込みフォームからご登録ください。URL <http://inclusive-gr.com/>
郵送先：〒156-0051 世田谷区宮坂3-13-13 3F「生活クラブ・東京」内 インクルーシブ事業連合
Fax: 03-5426-5203 TEL: 03-5426-5207 メール: info@inclusive-gr.com

お名前			
ご住所	〒		
電話番号		メールアドレス	
所属	・一般 ・助成を受けた団体 ・生活クラブ生協(組合員コード:) ・運動グループ(団体名:) 会員・メンバー ・その他 ()		
申し込み口数	個人 () □ 1 □ 3,600円/年	団体 () □ 1 □ 10,000円/年	

※ ご記入いただいた個人情報は、インクルーシブ事業連合のサポーター登録およびお知らせの送付に限り使わせていただきます。

発行：生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者：土谷雅美 <http://inclusive-gr.com>

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-13-13 生活クラブ・東京内 TEL 03 (5426) 5207 FAX 03 (5426) 5203

資産を生かし、地域福祉の拠点をつくらう

少子高齢化がすすみ、一人暮らし世帯や高齢者のみ世帯の増加はもちろん、最近地域を歩いていて目につくのは、雨戸が閉め切れ、庭は雑草の生い茂る状態の空き家の数々。

東京の空き家率は2008年時点で11%(75万戸)を超え、そのうち活用可能な賃貸用の空き家数は40.7万戸とされています。空き家の増加は個々の問題では済まされず、治安の悪化や無縁社会による孤独死の増加などにつながり、地域の衰退や地域コミュニティの崩壊を加速させます。

どんな状況にあっても安心できる「暮らし方」や「住まい方」を支えるには、私たちが必要だと思う地域の居場所や、身近な助け合いの事業が地域に点在し、ネットワークするしくみが必要です。それらの機能づくりに空き家が上手く活用できれば、負のスパイラルをプラスに転換できると考え、資産の社会的活用のしくみづくりの検討が始まっています。今回、地域の遊休資産を活用した事例を視察した中から、神奈川県生活サポートグループ、福祉クラブ生協の事例を報告します。(掲載しきれなかった世田谷区地域共生の家の事例については次号掲載予定です。)

福祉クラブ生協

神奈川の福祉クラブ生協では、組合員に対し、資産を活かした社会貢献を呼びかけ、趣旨に賛同した方々の協力で出来たデイサービスや子育て支援サービス施設があります。その中でも個人住宅を借りて開設したデイサービス3か所を見学しました。それぞれ運営は地域のワーカーズコレクティブが担っています。



鎌倉市鎌倉山「Dayサロンはる」



藤沢市鶴沼海岸「Dayいちいの木」



横浜市戸塚区「Dayいかや」



↑自立者向アパートシェアハウス「アネックス鶴見」マンションの3・4階の一室ずつをシェアしている



リビングルーム

神奈川県生活サポートグループ(通称KSサポート)

KSサポートは3つの法人が協力し、生活困難層のセーフティネットとして、多様な施設の提供、また住宅・食事・相談・就労支援など、新たな出発・自立へ向けた支援を行っています。いずれもオーナーが事業内容に合わせて物件を改装し、KSサポートと賃貸契約を結んでいます。

障がい者グループホーム 「ハーバー鶴見」(左)「ハーバー野毛」(右2枚)



←女性専用シェアハウス 「コーハウス東銀座」

社員寮だった建物を改装。国立がんセンターが近く、長期入院の付き添いや、遠方から通院される方を対象としている。